



より良い療養指導にむけた シックデイカードの社内展開 ：薬剤師の反応と今後の課題

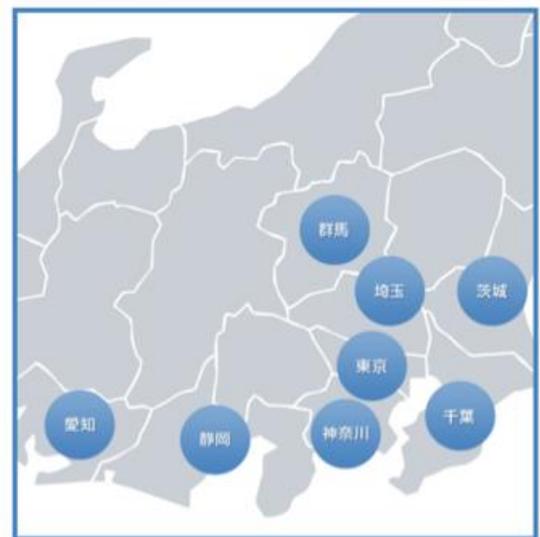
株式会社クリエイトエス・ディー
飯田誠之、山村春香、村田美佳、佐藤聡太



日本くすりと糖尿病学会 COI 開示

筆頭演者名：飯田 誠之 （株）クリエイトエス・ディー

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある
企業などはありません。



(2023年5月末現在)
ドラッグストア：710店舗
うち調剤併設：334店舗
調剤専門薬局：36店舗

Background



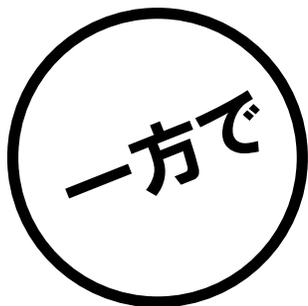
背景

「物」から「人」へ



対**物**業務の**効率化**

対**人**業務遂行力の**向上**



主な薬学管理料の算定率[#] (2022年6月)

項目	算定回数	算定率
かかりつけ薬剤師指導料	1,018,760件	1.61%
服用薬剤調整支援料1	684件	0.001%
服用薬剤調整支援料2	1,241件	0.002%
服薬情報提供料1	26,297件	0.04%
服薬情報提供料2	83,343件	0.13%

参考) E-Stat 総務省統計局2023

: 算定率は全受付回数63,246,383回より算出



職能発揮の**余地**あり



2022年7月
シックデイカードが当学会より発表

シックデイカード

2022年7月 シックデイカードが当学会より発表

シックデイとは？

糖尿病の方が、発熱、嘔吐や下痢、または食欲不振などで、食事が普通にできない時のことを言います。ストレスにより高血糖になることが多いですが、食事量が減っているのに通常どおりに糖尿病薬を使用すると低血糖を起こすことがあります。

高血糖

インスリン抵抗性発現

ストレス

抗ストレスホルモンの分泌

シックデイ

病気の時
感染症・発熱
下痢・嘔吐

低血糖

血糖値が大きく乱れやすい！

こんな時は主治医に連絡

- 下痢、嘔吐、腹痛などの消化器症状が強い
- まったく食事が摂れない、もしくは著しく少ない
- 高熱が続く
- 高い血糖値 (300mg/dL 以上) が続く (血糖測定器を持っている場合)
- のどの渇きがひどく、水分をたくさん摂り、尿がたくさん出る
- インスリン注射や飲み薬の量で自己判断に迷う時

シックデイ時の基本的な対応

- 保温と安静を心がけましょう。
- 十分に水分を摂り、脱水を予防しましょう。
- 口当たりがよく消化のよい食物 (ジュース、スープ、おかゆ、うどん、アイスクリーム、ゼリー状栄養食品など) で水分・炭水化物をとりましょう。
- 体温と、可能ならこまめに血糖自己測定をして、血糖値と病気の状態を確認しましょう。
- 食事量により糖尿病薬、インスリン量の調整が必要な場合があります。
- 改善がなければ早めに主治医に連絡してください。

主治医にシックデイ時の対応について確認しておきましょう。

発行：一般社団法人日本くすりと糖尿病学会
<https://jpbs.or.jp/> 薬師部会作成

種類	くすりの名前	1日量	いつも通り~8割ほど 摂取できるとき	普段の半分くらい 摂取できるとき	ほとんど摂取 できないとき
糖尿病の薬	アマリール錠1mg	2錠	2錠	1錠	中止
	グラクティブ錠50mg	1錠	1錠	1錠	1錠
	カナグル錠100mg	1錠	中止	中止	中止
	アクトス錠15mg	1錠	1錠	1錠	1錠
	メトグルコ錠250mg	6錠	中止	中止	中止
血圧の薬					

説明者 記載日 年 月 日 診察時に主治医に確認しておきましょう。

▶ シックデイ時の対応能力の強化

▶ 薬剤師の対人業務遂行力の向上

▶ 全店に水平展開 ▶ **課題抽出**

Method

方法

水平展開

312薬局
シックデイ
カード共有



各薬局にて学会HP登録
自主的にDLして使用

ノルマではなく、
対人業務の
提案として共有



聞き取り

2022/12
～
2023/2

活用
有無
(○/×)

医療機関
レスポンス
(自由記載)

服薬情報
提供料
算定実績
(件数)

薬剤師から
の意見
(自由記載)



解析

活用有無、レスポンス、算定実績



傾向解析

意見



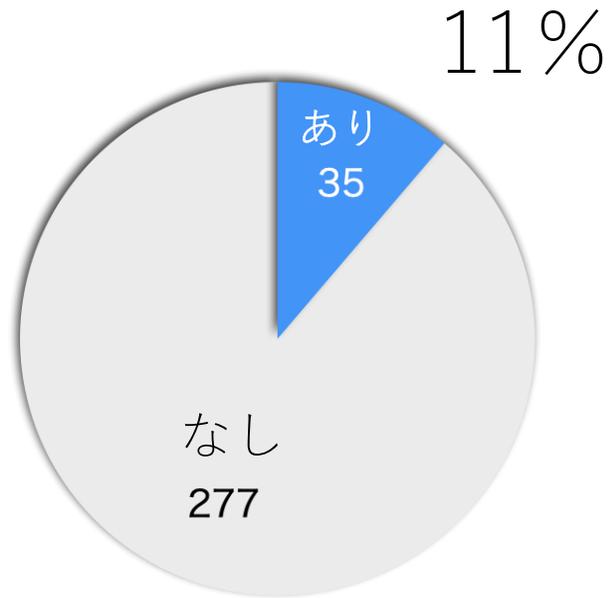
テキストマイニング
共起ネットワーク

共有資料の一部

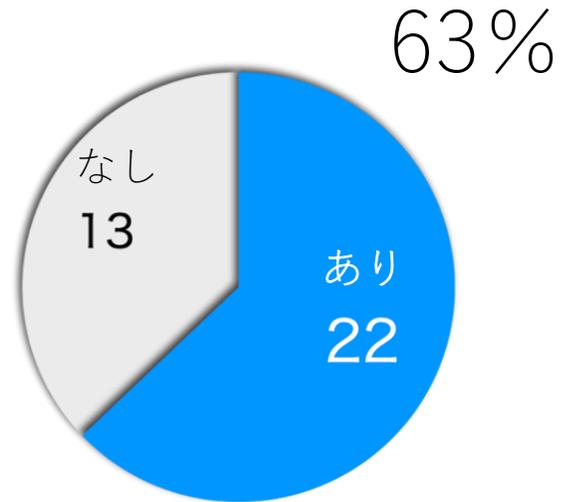


Result

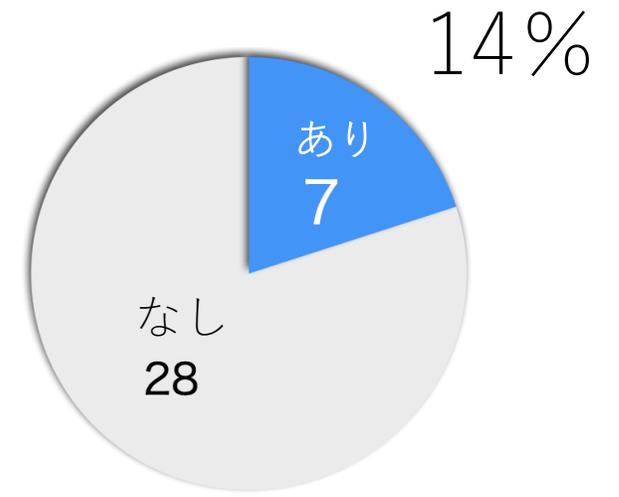
結果



シックデイカード
活用の有無



服薬情報提供料の算定



医療機関での
シックデイカード記入
(レスポンス)

▶▶▶ 活用した薬局の**傾向**は？

各薬局の対人業務算定頻度と シックデイカードの活用の有無

各対人業務算定割合	シックデイカードの活用		P#
	有	無	
かかりつけ (%) [SE]	0.53 [0.67]	0.58 [1.41]	0.16
服薬情報提供 (%) [SE]	0.62 [0.49]	0.41 [0.49]	<0.01
服用薬剤調整支援 (%) [SE]	0.01 [0.02]	0.01 [0.03]	0.27
外来服薬支援1 (%) [SE]	0.07 [0.08]	0.06 [0.09]	0.27

#: Mann - Whitney's U Test

- ▶ 服薬情報提供料との親和性が高い可能性
- ▶ シックデイカード展開前の3ヶ月間で同様の検証
服薬情報提供料のみ有意差が見られ (P=0.03)
普段から情報提供を行っている薬局が活用している傾向

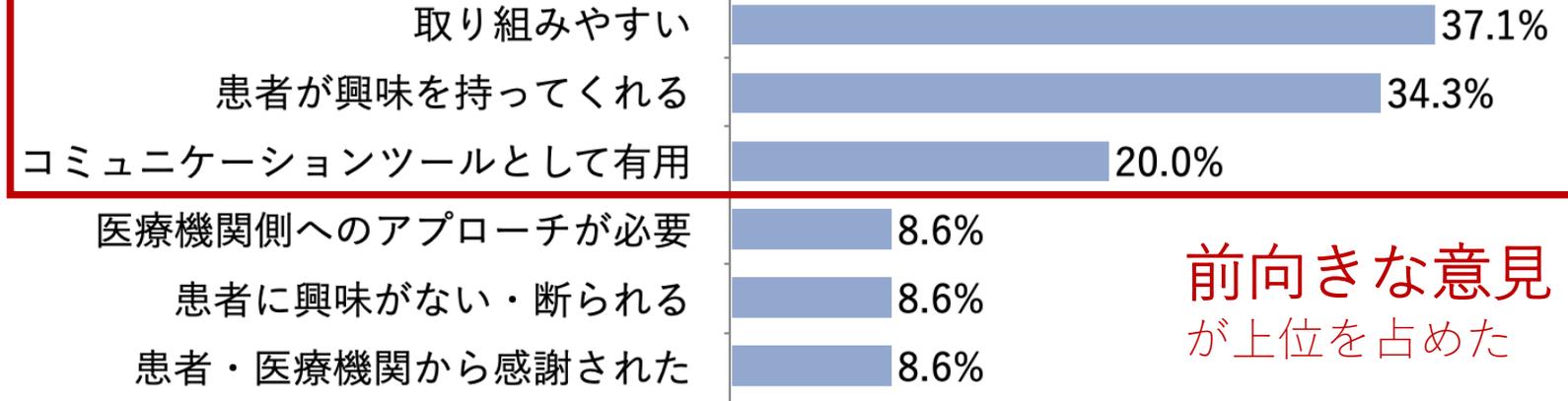
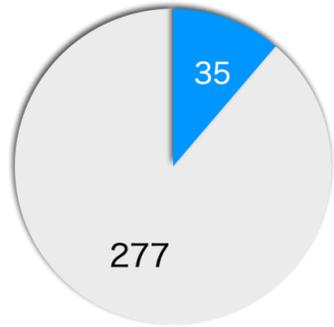
門前医療機関の有無と シックデイカードの活用

		シックデイカードの活用		P#
		有	無	
門前医療機関 の有無	有 (n=105)	14(40%)	91(32.9%)	0.38
	無 (n=217)	21(60%)	186(67.1%)	

#:Pearson's χ^2 test

- ▶ シックデイカードの活用の偏りに差があるとは言えず、
面薬局・門前薬局、**双方ともに有用**である可能性
- ▶ 一方、糖尿病医療機関門前薬局での活用は25%にとどまった

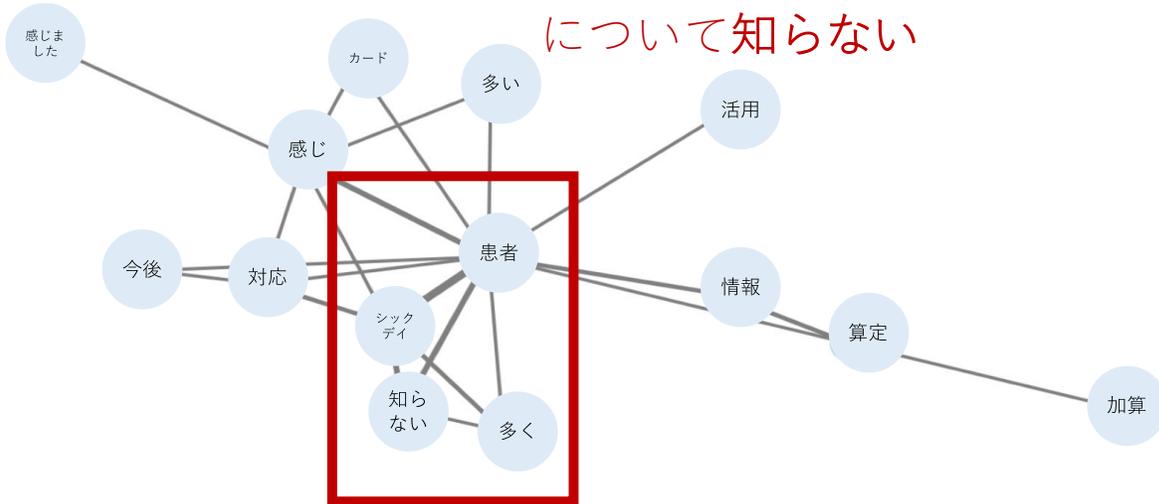
活用した薬局の意見



前向きな意見
が上位を占めた

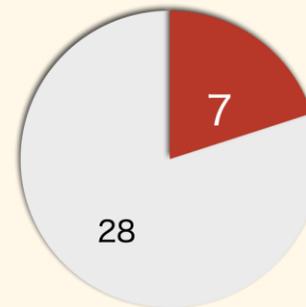
上位6位を抽出（複数回答有り）

患者の多くはシックデイ
について知らない



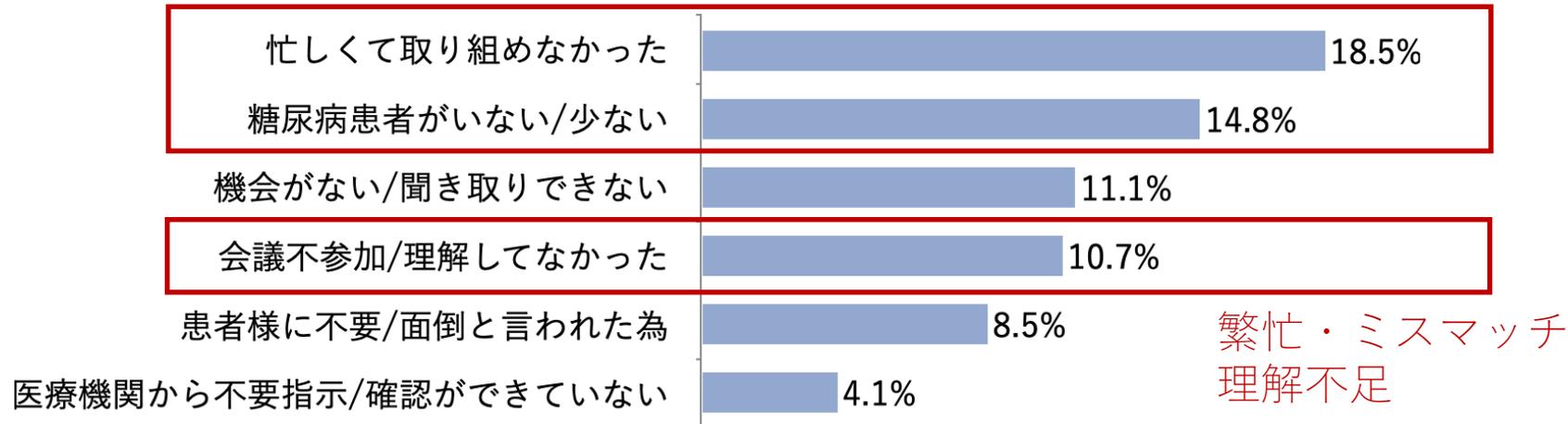
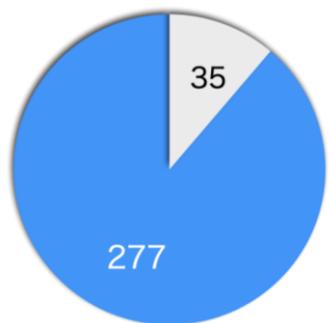
共起語ネットワーク解析

医療機関からのレスポンス（複数回答有り）

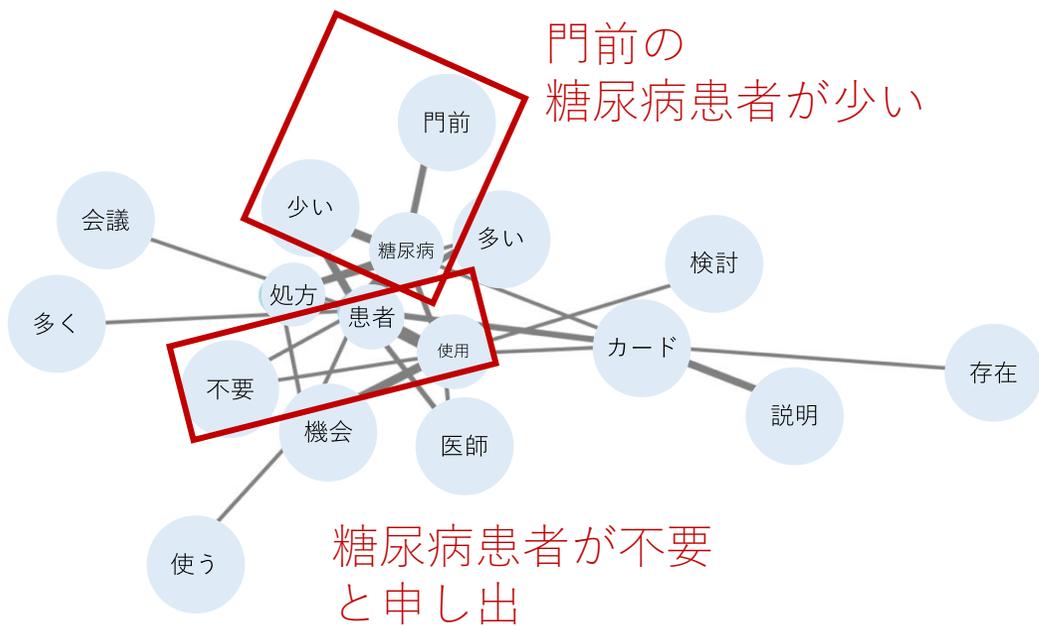


- ・シックデイカードの記載なし（28件）
- ・カードへの記入（6件）
- ・FAXでの返答、口頭での説明
電話での回答（3件）
- ・医療機関からどこで入手できるのか
と問い合わせ（1件）

未活用薬局の意見



上位6位を抽出（複数回答有り）



共起語ネットワーク解析

糖尿病門前薬局の意見

- 繁忙のためスタッフへの教育ができなかった
 - ・ 専門医に相談ができていないため
- 待ち時間が長く、投薬時に活用できなかった
 - ・ 日頃から患者教育を行っているため不要

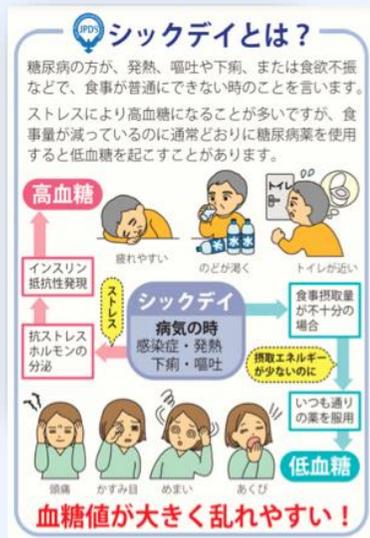
▶▶▶ 繁忙でも取り組める工夫

Consideration



考察

利点



シックデイ時の
重大な低血糖を
予防

対人業務としての
評価である
加算に直結

かつ

患者からの**評判良い**

シックデイについて知らない患者が多く、**患者教育**
ツール・**コミュニケーションツール**として**有用**

薬剤師からは**取り組みやすい**という反応

面薬局・門前薬局**双方で有用**

課題

繁忙→未活用が最多

実施側の**理解不足**

低い返答率

医療機関との**連携不足**

対応策案



薬局や病院の待ち時間にシックデイに
関する情報やビデオを提供

周知ではなく研修レベルで実施
マニュアルに組み込む

シックデイカードの重要性や効果を
医療機関に伝え、協力を求める



シックデイカード

シックデイカードが浸透することで、QOL
が上がる患者数は多い

患者からシックデイ時の指導をお願い
されるレベルでの啓蒙が目標